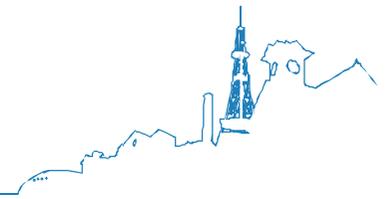




札幌市における 国際会議等誘致の取組と現況



I 国際会議等開催の現況



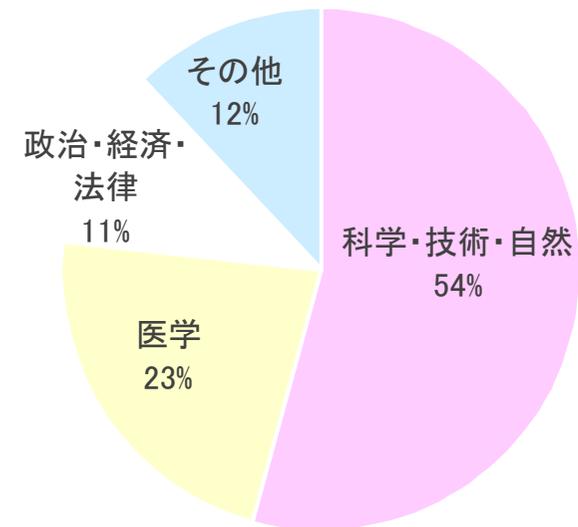
○ 国際会議の開催状況

| | 2012年 | 2013年 | 2014年 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| JNTO基準 | 61件 | 89件 | 101件 | 107件 | 115件 | 116件 | 国内10位 |
| ICCA基準 | 16件 | 13件 | 19件 | 18件 | 18件 | 24件 | 国内4位 |

【ICCAランキング（2017）】

| 都市名 | 件数 | 国内順位 | 国際順位 |
|---------|------|------|------|
| 東京(23区) | 101件 | 1位 | 18位 |
| 京都市 | 46件 | 2位 | 50位 |
| 名古屋市 | 25件 | 3位 | 104位 |
| 札幌市 | 24件 | 4位 | 108位 |
| 大阪市 | 17件 | 5位 | 156位 |
| 福岡市 | 17件 | 5位 | 156位 |

【分野別開催割合（JNTO2017）】



- 北海道大学等の市内の大学研究機関に、学術系の国際会議のキーパーソンとなる人材が集積
- 分野別では、科学・技術・自然系、医学系の割合が高い

I 国際会議等開催の現況



■ 政府系国際会議の主な開催実績

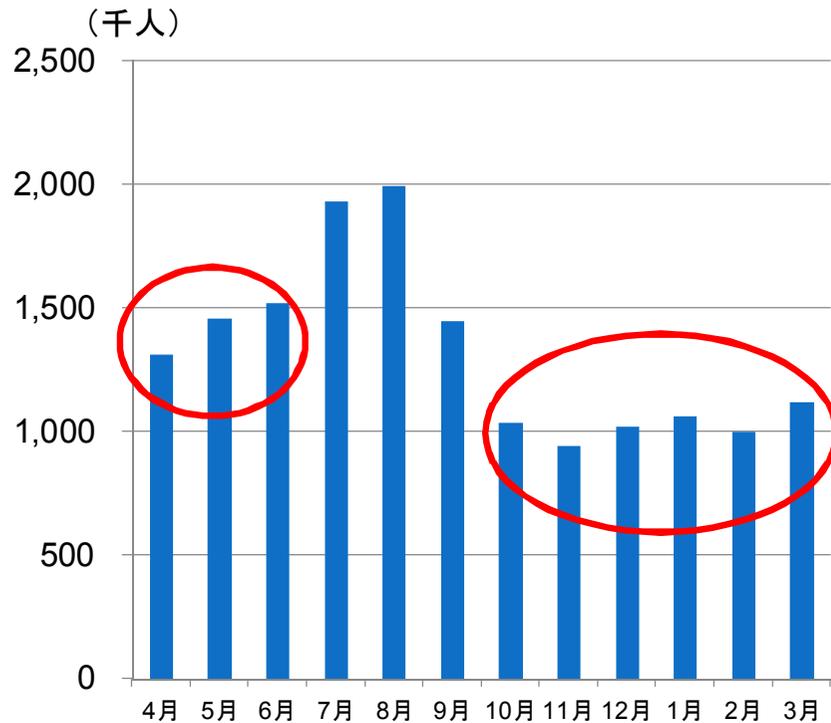
| 開催年月 | 会議名 | 参加者数 (うち海外参加者数) |
|----------|--|--------------------|
| 2010年6月 | 2010年日本APEC貿易担当大臣会合及び関連会合 | 2,500人 (2,200人) |
| 2012年6月 | 第27回アジア消防庁協会総会 | 528人 (71人) |
| 2012年7月 | 太平洋まぐろ類国際科学委員会 (ISC)第12回総会 | 50人 (40人) |
| 2012年10月 | 第13回北東アジア港湾局長会議・北東アジア港湾シンポジウム | 250人 (70人) |
| 2013年7月 | 大西洋まぐろ類保存国際委員会 (ICCAT)統合監視措置 (IMM)作業部会及び条約改正作業部会 | 100人 (60人) |
| 2013年7月 | 国際電気通信連合 無線通信部門 SG5 WP5D第16回会合 | 185人 (155人) |
| 2013年11月 | 第13回日中韓特許庁長官会合 | 225人 (25人) |
| 2013年11月 | 第4回日インドネシア交通次官級会合 | 70人 (40人) |
| 2014年2月 | 国際電気通信連合電気通信標準化部門 第16研究委員会 (ITU-T・SG16会合) | 232人 (146人) |
| 2015年9月 | 第7回日・ASEAN諸国防衛担当局次官級会合 | 50人 (47人) |
| 2018年1月 | 第3回日・ASEAN航空協定交渉会合 | 34人 (25人) |

I 国際会議等開催の現況

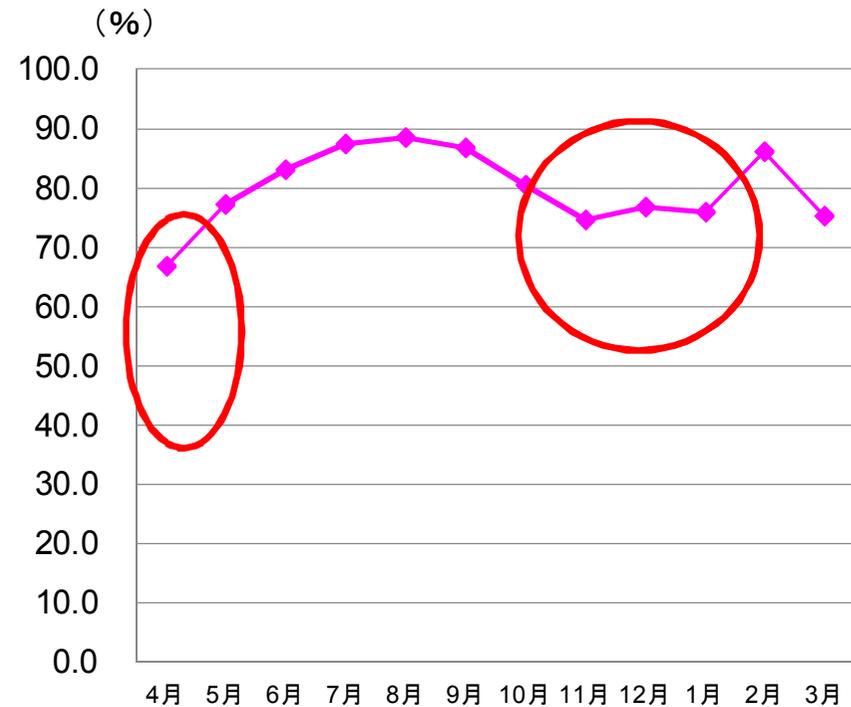


■ 月別の動向①

【来札観光客数（H30年度）】

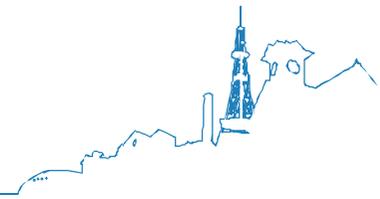


【市内宿泊施設の稼働率（H29年度）】



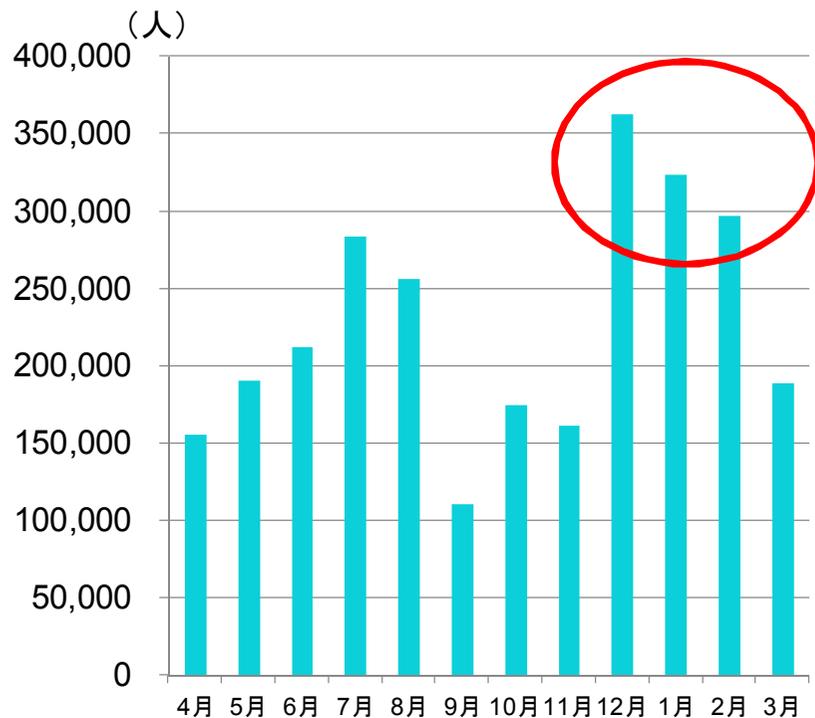
- 札幌観光のハイシーズンは7月～9月で繁忙期と閑散期の差が大きい
- 8月（199万人）と11月（94万人）では観光客が半分以下に落ち込む
- 市内宿泊施設の稼働率も観光客数と同様に、春先と冬期に低下する傾向がある

I 国際会議等開催の現況

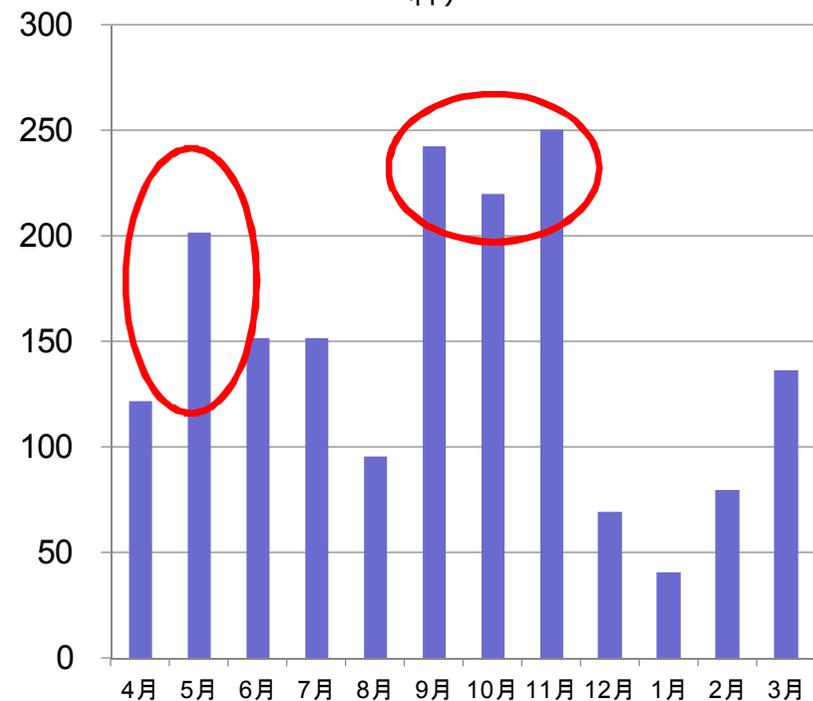


■ 月別の動向②

【外国人宿泊者数（H30年度）】



【国内における大型の国際会議の開催件数】
(2007～2015年の累積・1,000～12,000人規模抜粋)



- 市内の外国人宿泊者は12月～2月の冬期間に多い
- 国内における大型の国際会議の開催時期は春、秋に集中
- 国際会議等の誘致は札幌観光における閑散期の落ち込みを底上げするために、開催時期も意識しながら活動

Ⅱ 国際会議等誘致の取組



■ 札幌MICE総合戦略（2015～19）

【ビジョン】 札幌の魅力あふれる“ONLY ONE” MICE都市

○ 積極的誘致戦略【重点誘致ターゲット】

- ① 国内及びアジアをターゲットとした**学術系**の**大中規模会議**
- ② 主に東アジア・東南アジアからの**インセンティブツアー**
- ③ 国内外に向けたPR効果の高い**政府系国際会議**
- ④ 札幌の特色を生かした**スポーツ関連の会議、大会、イベント**

○ 基盤の強化戦略【受入基盤強化】

- ① 誘致・開催支援**体制の強化**
- ② **MICE施設整備**とゾーン形成の検討

現在施設の詳細を検討中

II 国際会議等誘致の取組



■ 誘致・セールス活動

見本市・商談会における誘致

- 国土交通省北海道局、北海道と連携した誘致活動及び情報収集（政府系国際会議）
- 国内外のMICE専門見本市・商談会でのセールス（国際会議、学会）
- 国際会議主催者等のキーパーソン招請（国際会議、学会）

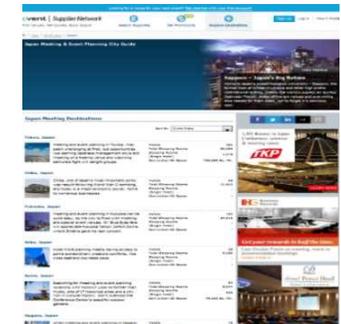


海外メディアへの広告掲載

- 海外のMICE専門誌やWeb版の広報媒体を活用し、札幌の会議施設、ホテル、ユニークベニュー等、札幌の魅力をもPR



海外の国際会議主催者等を対象としたMICE専門誌「Head Quarters」



世界各都市の情報を掲載したデータベース「Cvent」

グローバルMICE強化都市

- 2015年に観光庁により「**グローバルMICE強化都市**」に選定されたことから、現在、国とも連携しながらMICE誘致力を強化

Ⅱ 国際会議等誘致の取組



■ 開催支援・おもてなし

開催支援プログラム

- 外国語ボランティア
(インフォメーションデスクの設置、エクスカーション等でのガイド)
- 日本文化体験ボランティア
(茶道、着物着付、書道等の体験プログラム)



ユニークベニュー

- 札幌の多彩な観光資源を活用したユニークベニューの提供

«過去の活用事例»

大倉山ジャンプ競技場、モエレ沼のガラスのピラミッド
JRA札幌競馬場 など



Ⅱ 国際会議等誘致の取組



■ スポーツ関連の会議、大会、イベント

今までの開催実績

【2015年度】

FISスノーボードハーフパイプ大会

【2016年度】

NHK杯国際フィギュアスケート競技大会、2017冬季アジア札幌大会、IPCノルディックスキーW杯

【2018年度】

WPNSノルディックスキーW杯

【2019年度】

ラグビーワールドカップ2019



【ラグビーワールドカップ[®] 日本開催】

オーストラリア対フィジー

9月21日（土）

イングランド対トンガ

9月22日（日）



- ファンゾーンやパブリックビューイングの実施
- 外国人観戦者向けに日本文化体験や特設インフォメーションブースの設置
- 市内ビアホールなどのグルメマップの配布

Ⅱ 国際会議等誘致の取組



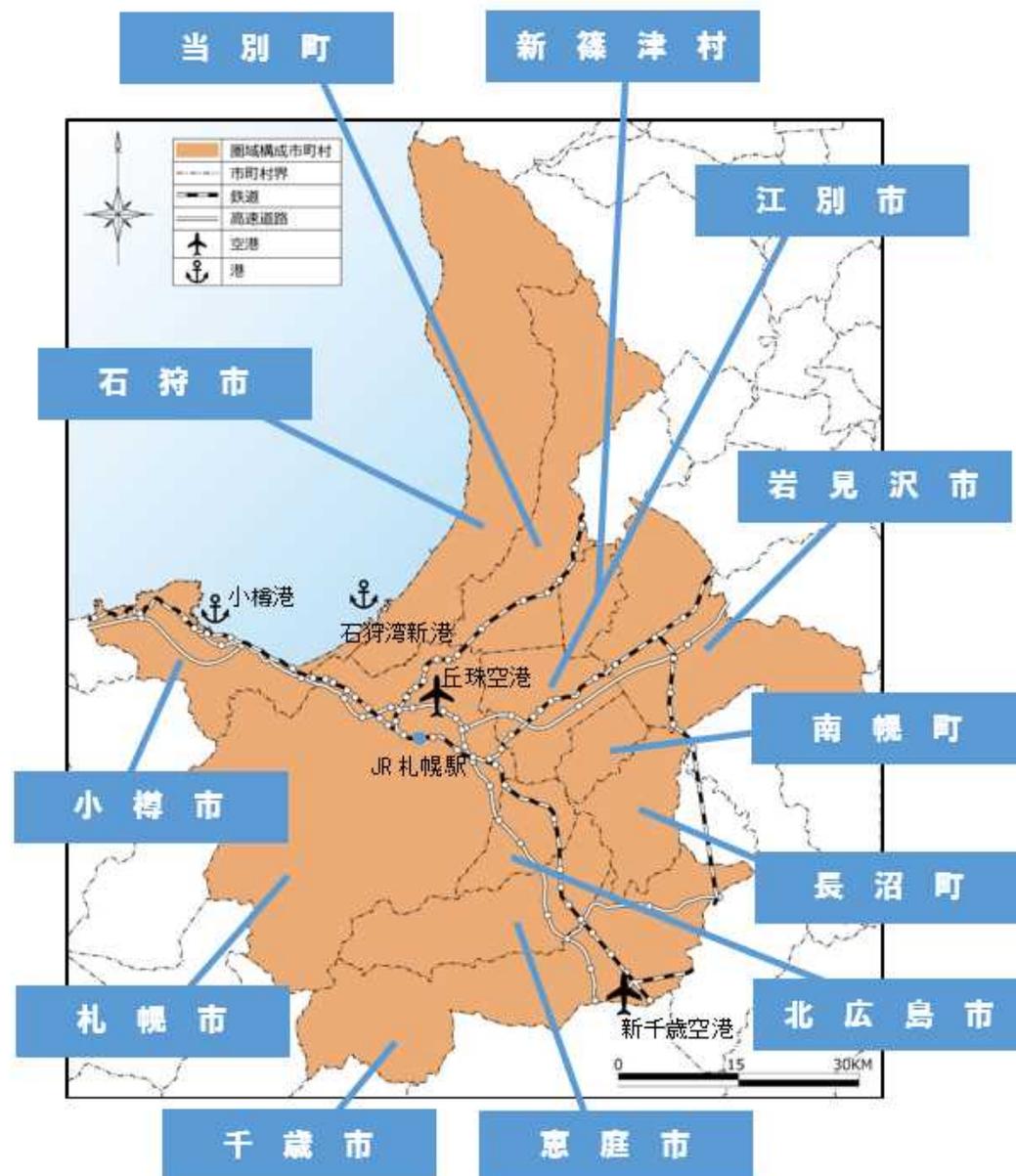
■ さっぽろ連携中枢都市圏

人口減少・少子高齢社会にあっても、圏域内の活力を維持し、魅力ある街づくりを進めるため、関係11市町村と2019年3月に形成。

「住みたくなる」「投資したくなる」「選ばれる」さっぽろ圏域を目指して、様々な取組を実施。

今後実施を検討している
MICE誘致推進の取組

- アフターコンベンションやエキスカーション等における視察ルートの設定
- 海外見本市への共同出展等のプロモーション事業



Ⅲ 国際会議等開催の受入環境



■ 交通アクセス

【新千歳空港の主な国内路線・国際路線】

令和元年10月現在

| 国内線 | | 国際線 | |
|--------|-------|------|----------|
| 成田空港 | 1日18便 | ソウル | 毎日（週33便） |
| 羽田空港 | 1日57便 | 北京 | 毎日（週7便） |
| 中部国際空港 | 1日20便 | 台北 | 毎日（週28便） |
| 関西国際空港 | 1日12便 | 上海 | 毎日（週21便） |
| 大阪伊丹空港 | 1日12便 | 南京 | 毎日（週5便） |
| 神戸空港 | 1日6便 | 高雄 | 毎日（週5便） |
| 福岡国際空港 | 1日5便 | 香港 | 毎日（週14便） |
| 仙台空港 | 1日16便 | バンコク | 毎日（週7便） |

※定期便のみ

※繁忙期の臨時増便等は除く

- 新千歳－羽田間は、年間搭乗者数で約906万人（平成30年度）誇り、首都圏からの利便性が高いアクセス環境。
- 国際線の直行便も東アジアを中心に20路線が就航。
- 新千歳空港から札幌駅まではJR快速エアポートでわずか37分。

Ⅲ 国際会議等開催の受入環境



■ 主な会議開催エリア



Ⅲ 国際会議等開催の受入環境



■ 札幌コンベンションセンター

- 敷地面積 41,019m²
- 延床面積 20,310m²
- 構造 地下1階・地上3階（RC造、一部SRC・S造）
- 供用開始 平成15年6月
- 指定管理 SORA-SCC共同事業体（株）コンベンションリンクージ、（株）東洋実業



■ （仮称）新MICE施設

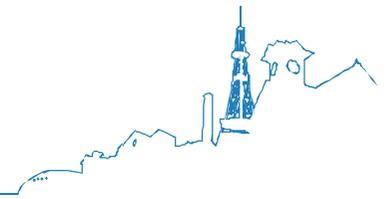
- 整備地 中島公園駅周辺地区
※地下鉄さっぽろ駅から5分、すすきのまで徒歩圏内
- 面積 ・専有部分25,500m² ・共用部面積19,400m²
- 特徴 ①ホテルとの合築 ②地下鉄駅と直結

| 主な諸室 | 面積 | 室数 |
|--------|--------------------------|------|
| メインホール | 2,000m ² 程度 | 1室 |
| 展示場 | 4,000m ² 程度 | 1室 |
| 会議室 | 合計2,000m ² 程度 | 7室程度 |

※会議室については、別途ホテル棟に合計3,000m²（8室）程度を整備予定

- 供用開始時期
2025年度（予定）

Ⅲ 国際会議等開催の受入環境



■ 宿泊施設

| 札幌市内のホテル | |
|----------|---------|
| ○ホテル数 | 155軒 |
| ○客室数 | 25,572室 |
| ○定員数 | 46,836人 |

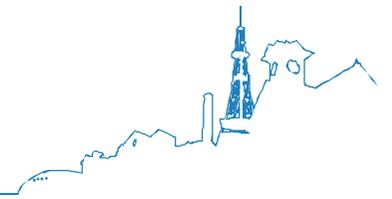
- 【札幌駅エリア】**
- ・JRタワーホテル日航札幌（342室）
 - ・京王プラザホテル札幌（494室）
 - ・ANAクラウンプラザホテル札幌（412室）
 - ・センチュリーロイヤルホテル（300室）など

- 【すすきの・中島公園エリア】**
- ・札幌パークホテル（216室）
 - ・プレミアホテル・TSUBAKI・札幌（322室）
 - ・ホテルマイステイズプレミア札幌パーク（419室）
 - ・プレミアホテル中島公園札幌（228室）など

- 【大通公園エリア】**
- ・札幌プリンスホテル（587室）
 - ・ロイトン札幌（294室）
 - ・札幌ビューホテル大通公園（347室）
 - ・札幌グランドホテル（504室）など



Ⅲ 国際会議等開催の受入環境



■ お問い合わせ先

- 札幌市経済観光局観光・MICE推進部
 - ・ TEL : 011-211-2376
 - ・ e-mail : kanko@city.sapporo.jp

- 公益財団法人札幌国際プラザ・コンベンションビューロー
 - ・ TEL : 011-211-3675 (札幌)
 - 03-3216-5090 (札幌市東京事務所内)
 - ・ e-mail : convention@plaza-sapporo.or.jp